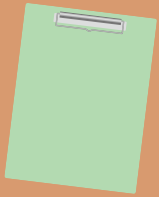


# れきはくワークシート チャレンジ!

持ち物



▲えんぴつ



▲ボード

常設展示室に展示されている資料について、ワーク(作業)をしながら、観察してみましょう。

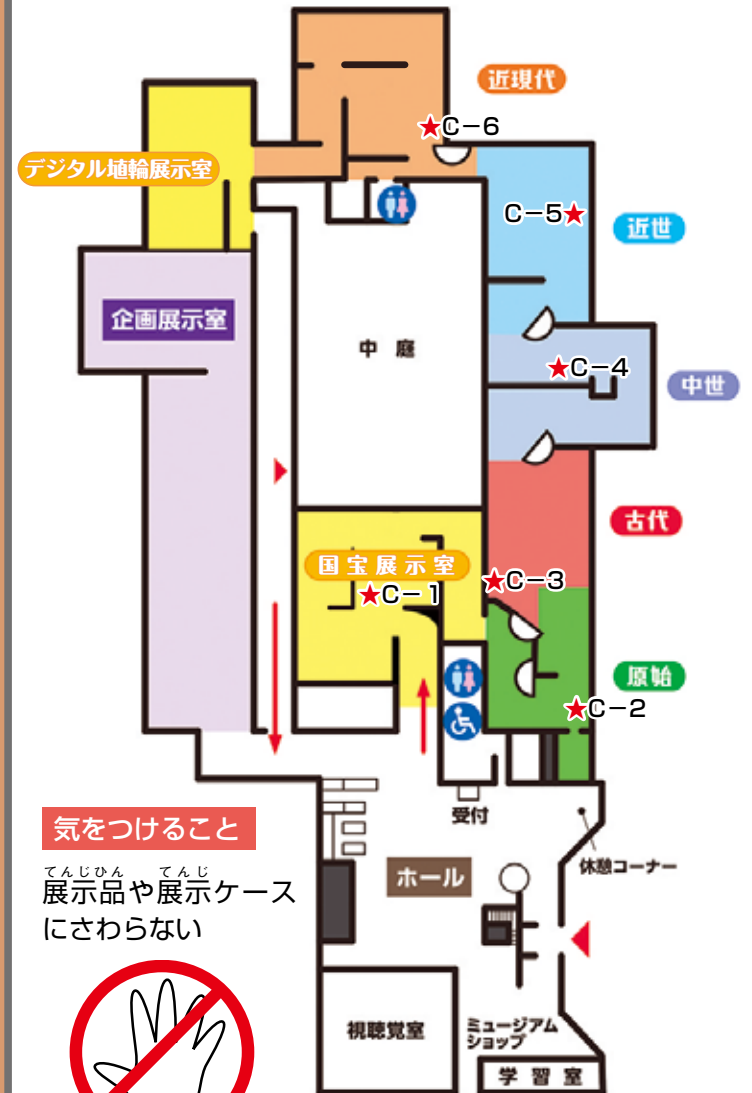
①右の地図の★印の場所に行き、資料をさがしましょう。

②問題に挑戦して、「気づいたこと」を記入しましょう。

③ほかの資料も見ながら、次の資料をさがしましょう。

④他のコースの人と、意見交流をしてみましょう。

## 館内MAP



名前

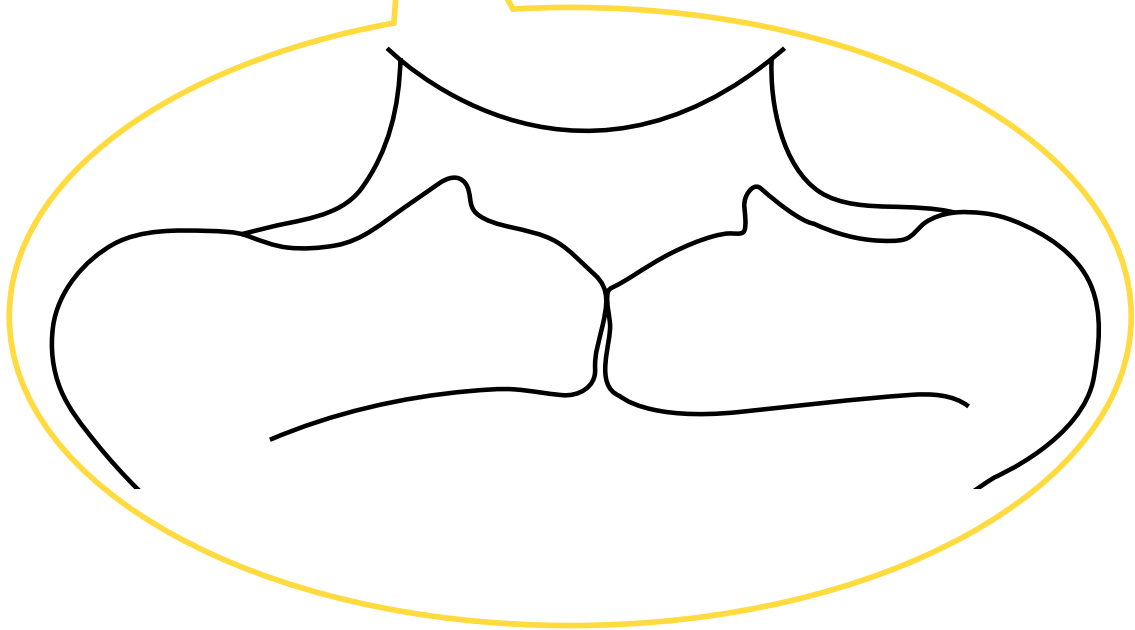
C

★資料カード (C - 1) <sup>こくほうてんじしつ</sup> <sup>きんいろ</sup> <sup>へや</sup>  
 国宝展示室 (金色の部屋)

資料名	はにわ <b>埴輪</b> <sup>れんざ</sup> <b>連座する</b> <sup>さんにとうじょ</sup> <b>三人童女</b>		
時代	<sup>こふん</sup> <b>古墳時代</b>	地域	<sup>たかさきし</sup> <b>高崎市</b>



<sup>わたぬきかんのんやまこふん</sup> <sup>しゅつど</sup>  
 綿貫観音山古墳から出土した  
 はにわ <sup>れんざ</sup> **埴輪**「<sup>さんにとうじょ</sup>連座する三人童女」を見つけましょう。  
<sup>むね</sup> <sup>まえ</sup> <sup>あ</sup> <sup>りょうて</sup>  
 胸の前で合わせた両手で  
<sup>げん</sup> <sup>しくさ</sup>  
 弦をはじくような仕草をしています。  
<sup>て</sup> <sup>ようす</sup> <sup>み</sup>  
 手の様子をよく見て、  
<sup>ゆび</sup> <sup>ようす</sup>  
**指の様子やアクセサリを**  
**スケッチしてみましよう。**



<sup>さが</sup> <sup>かん</sup> <sup>かんが</sup>  
 探そう、感じよう、考えよう

<sup>ほか</sup> <sup>ふくそうひん</sup> <sup>しゅつど</sup>  
 他にもきらびやかな副葬品がたくさん出土しました。

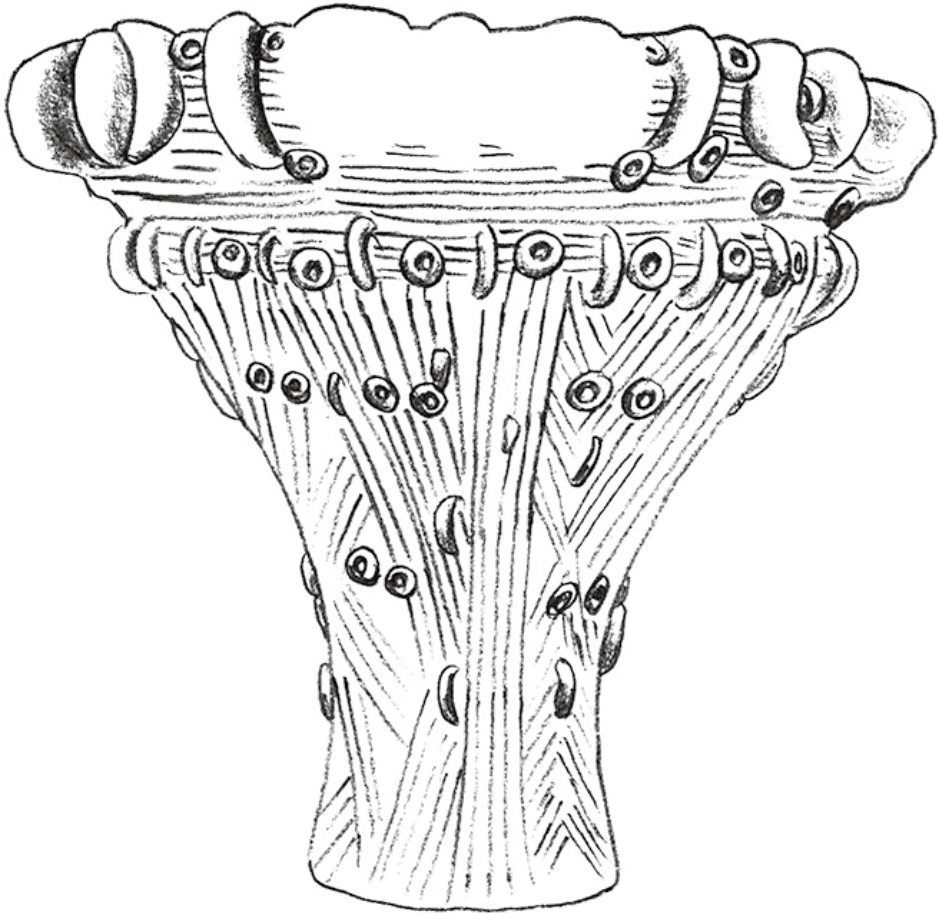


<sup>すず</sup>  
 このベルトには鈴がついていますね。  
<sup>すず</sup> <sup>はにわ</sup> <sup>さが</sup>  
 鈴のついている埴輪もあります。探してみよう。

★資料カード (C - 2) <sup>げんしてんじしつ</sup> 原始展示室 <sup>みどりいろ</sup> ( <sup>へや</sup> 緑色の部屋 )

資料名	ふか ばち 深 鉢		
時代	<sup>じょうもん</sup> 縄文時代	地域	<sup>しょうわむら</sup> 昭和村

<sup>じょうもんとき</sup> 縄文土器です。  
<sup>た</sup> 足りない部分を描いてみましょう。



<sup>さが</sup> 探そう、<sup>かん</sup> 感じよう、<sup>かんが</sup> 考えよう

<sup>じょうもんじだい</sup> 「縄文時代の暮らし」と <sup>やよいじだい</sup> 「弥生時代の暮らし」2つの暮らしぶりを <sup>くら</sup> 比べて <sup>み</sup> 見てみよう。どっちが <sup>す</sup> 好き？



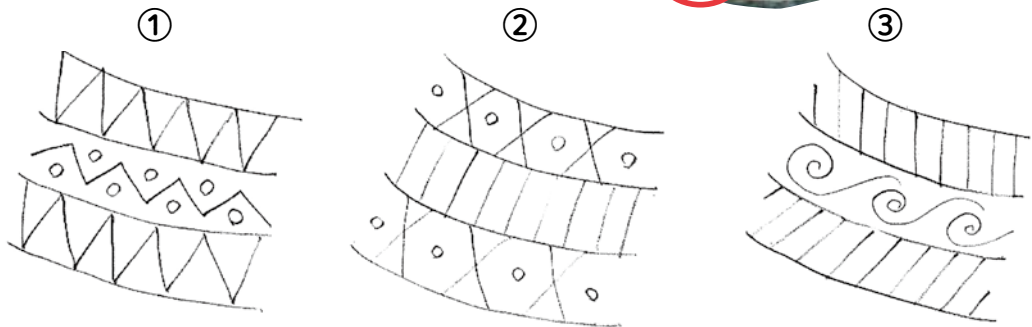
しゃがんで見ると  
楽しいよ

資料名	かわいいなりやまこぶん <small>さんかくぶちしんじゅうきょう</small> <b>川井稻荷山古墳の三角縁神獣鏡</b>		
時代	<small>こぶん</small> <b>古墳時代</b>	地域	<small>たまむらまち</small> <b>玉村町</b>

さんかくぶちしんじゅうきょう  
 「三角縁神獣鏡」と呼ばれている銅鏡です。  
おうけん ヤマト王権から地方の有力者に配られたと考えられています。  
かんとう 関東より北では、ぐんまけん 群馬県で最も多く出土しています。  
しゅつど



かがみ  
 鏡をよく見てみましょう。  
かこ  
 ○で囲んだところのもようは、  
 次のうちどれでしょうか。



どうきょう  
 ほかの銅鏡も見てみましょう。どんなもようがありますか。

さが 探そう、かん 感じよう、かんが 考えよう

すべ これらは全て古代の部屋にあります。こだい この中で自分の家に飾りたいのはどれ？  
なかに じぶん いえ かざ



資料名	うえずぎけんしん しょじょう 上杉謙信 書状		
時代	せんごく 戦国時代	地域	

これは、<sup>せんごくぶしやう</sup> 戦国武将の <sup>うえずぎけんしん</sup> 上杉謙信の <sup>しょじょう</sup> 書状 (手紙) です。  
 左下に <sup>かおう</sup> 花押とよばれるサインがありますが、<sup>けんしん</sup> 謙信の <sup>かおう</sup> 花押は、  
 年によって少しずつちがいます。

次の①～⑥は、<sup>けんしん</sup> すべて謙信の <sup>かおう</sup> 花押ですが、  
<sup>てんじ</sup> 展示してあるものと <sup>かおう</sup> 同じ花押はどれでしょう？

これを探そう



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

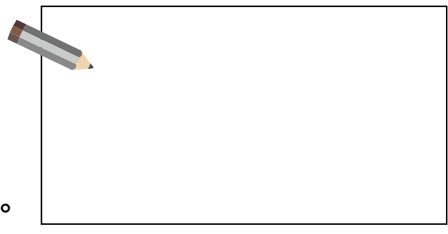
<sup>さが</sup> 探そう、<sup>かん</sup> 感じよう、<sup>かんが</sup> 考えよう

これは <sup>にったよしさだ</sup> 新田義貞の <sup>かおう</sup> 花押 (サイン) です。



<sup>へや</sup> この部屋には他にも <sup>ほか</sup> 花押 <sup>かおう</sup> があります。

自分の <sup>かおう</sup> 花押 (サイン) をつくってみよう。





資料名	( )		
時代	<sup>えど</sup> 江戸時代	地域	

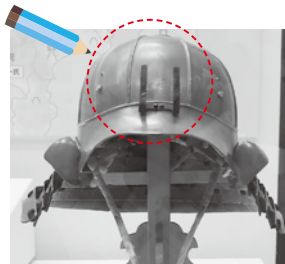
<sup>えど</sup>江戸時代になると、道が<sup>せいび</sup>整備され、<sup>へいわ</sup>平和になったことから  
多くの人やものが<sup>いどう</sup>移動するようになりました。



これは、<sup>たび</sup>旅をした人が持っていた<sup>はこ</sup>箱です。  
<sup>さいふ</sup>財布など大事な物を入れておくために使いました。  
ところが、ほかにもう一つの<sup>つかかた</sup>使い方がありました。  
さて、それは何でしょう？ <sup>はこ</sup>箱の名前がヒントです。

<sup>さが</sup>探そう、<sup>かん</sup>感じよう、<sup>かんが</sup>考えよう

これらは<sup>すべ</sup>全て<sup>きんせい</sup>近世の  
<sup>へや</sup>部屋にあります。  
<sup>いろ</sup>色を<sup>そうぞう</sup>想像してから、  
<sup>さが</sup>探してみよう。



資料名	にしぎえ <b>錦絵</b>	よこはまかつこくしょうかんしんず <b>横浜各国商館真図</b>
時代	めいじ <b>明治時代</b>	地域

めいじ がいこく ぼうえき はじ  
明治時代に外国との貿易が始まると、  
ぐんまけん きいと かいこうちよこはま ゆしゆつ  
群馬県の生糸は開港地横浜から輸出されました。

にしぎえ ころ よこはま ようす  
下の錦絵は、その頃の横浜の様子です。  
じつぶつ  
実物とちがうところが3つあります。探して○をつけましょう。



さが かん かんが  
探そう、感じよう、考えよう

かべにある大きな絵を  
見てみましょう。  
ぐんまけん とみおかし  
群馬県富岡市にある  
「富岡製糸場」の内部を  
とみおかせいしじょう ないぶ  
描いた絵です。  
こうじょ  
工女たちになったつもりで、  
セリフを書いてみよう。



メモ

A large rectangular area with a solid black border and horizontal dashed lines, intended for writing notes.

発行日 2023年4月1日

**群馬県立歴史博物館**

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

